

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- ・家庭学習の充実
- ・豊かなコミュニケーション力の育成

＜本年度の学力向上策等＞

家庭学習アッププラン

- ・学習習慣を身につけ、生徒一人ひとりの学力の向上をめざすため、「家庭学習アッププラン」として学年や達成の度合いに応じて、スモールステップを設けた継続的な取り組みをすることで、しっかりとした家庭学習の習慣を身につけていく。

ステップ1：自分で決めた時間に机に向かい、家庭学習に取り組む習慣をつける。

ステップ2：学習時間を記録していくことで、自分の学習の時間を把握する。

ステップ3：学習内容の記録を行うことで、自分の学習の傾向や改善点を考える。

段階に応じた家庭学習定着シート(別紙)を活用し、日々の家庭学習についての記録や自己評価を行う。

- ・担任がシートを週に1回程度チェックし、必要に応じて声かけや面談を行う。
- ・教科担任と連携して、学習の方法や内容が分からない生徒の支援を行う。

国語

- ・読む力を高めるために、図書委員による読み聞かせを4月に、「ビブリオバトル」を2学期に行う。
また、指定されたテーマに関する本を読むことにより図書館の利用者数を増やす
- ・書く、話す、聞く力をつけるための力をつけるために9月に学年弁論大会を行う。
- ・漢字小プリントを授業開始5分で継続的に実施し、基礎基本事項の定着を図る。

数学

- ・授業の最初に、1分間で基礎的な計算問題に取り組む。
- ・記述する能力、考える力を高めるため、授業の中でのグループ活動を積極的に行う。

社会

- ・授業の初めに、復習クイズなどを行い、前時までの基礎知識の確認を行う。
- ・話し合いや意見交流の場を設けることで、事象を多面的多角的に考察できる力を身につける。

＜本年度の振り返り＞

数学科では、授業の最初に1分間の基礎計算を3年間継続して行うことで、1年次に比べて学習状況調査の正答率を上げることができた。

社会科では、授業の初めに復習テストを行い、基礎的な知識の定着に努めた。またグループ活動を積極的に行い、事象を多面的多角的に考察できる力を身に着ける授業を展開した。

国語科では、読み聞かせやビブリオバトル、学年弁論大会を実施した。さらに来年度は歴史的仮名遣いや古典への理解を深めるために、百人一首大会を行う。

